

室内用光触媒、実力を発揮

ピアレックス・テクノロジーズ

室内向けに開発した可視光応答型光触媒コーティング「ピュアコートV」が実力を発揮し始めている。

昨秋、同品にとってシンボリックな物件施工がなされた。同社材料の責任施工組織「K2コーティング・マスターズ」の会員、北近畿緑地建設が豊岡市（兵庫県）の技術革新助成事業で豊岡北中学校の教室を「ピュアコートV」で施工。3年生の教室の天井のみ600㎡といった施工内容だが、施工後の各種検査やアンケートなどから同品の実力が明らかとなってきた。

助成事業ということもあり、その効果を明示しなければならない。第三者機関による検査では、落下菌、付着菌、臭気のいずれにおいても施工前後で著しく改善されたことを数値で証明。

更に教職員と生徒30人に対するアンケート調査でも「以前より教室内の空気がクリーンになったと感じる」「2年生教室（未施工）より3年生教室の方がニオイが気にならない」といった項目に対して22人が「ハイ」と回答。空気質改善効果の実感に加え、「去年はインフルエンザで学級閉鎖を余儀なくされたが、今年は罹患者が少なく事態が改善している」とのコメントも引き出しており、インフルエンザ不活性化の機能も証明されたかたちだ。

この結果を踏まえ、市側も採用に積極的で他の案件での計画が具体化するなど拡販の機会が広がっている。

「ピュアコートV」は可視光での光触媒活性が極めて高い硫黄ドーパド酸化チタンを特殊フッ素樹脂・ナフィオンで塗料化に成功した独自製品。